

全校集会校長講話(10月14日)

校長 鈴木 健史

さわやかな秋晴れの中、「笑華一心（しょうかいっしん）笑う門には勝ち来る」という双翼祭スローガンを掲げ、黄・赤・青の軍団ごとに団長を中心とするリーダーたちのリーダーシップのもとに、それぞれの軍がもつ特色がでた素晴らしい双翼祭でした。

来年は2年生の皆さん、再来年は1年生が、今年の3年生のように双翼祭の進化させてくれると確信しています。こうして、一中の双翼祭の伝統は引き継がれていきます。

今月末の10月24日（金）には、麗華祭となります。一昨年まで利用させていたいたい、村上市民ふれあいセンターは空調設備の改修工事により使うことができないため、今年の午後の部の合唱コンクールは、この体育館となります。音響や駐車場等の心配はあります。保護者の皆さんには少し迷惑をおかけすることになると思います。

今日は「自業自得」という言葉について みなさんに少し考えてもらいたいと思います。「業」はサンスクリット語のカルマの訳語で、「自得」は自分の行いの結果を受け取ることです。仏教経典『正法念處經』にも登場しています。

今では悪い結果に対して使われがちですが、本来は自分の行動を見つめ直す教えです。失敗を他人のせいにせず、自分の行いを省み、より良い行いを積み重ねていくことが大切であることを指しています。それが「自業自得」の本来の意味なのです。

似た言葉に「因果応報」があります。これは、原因と結果、そしてそれに対する報いを意味し、良い行いには良い結果が、悪い行いには悪い結果となることを示唆しています。つまり、行動に応じて結果が現れるという教えです。これもまた、自分の行いを見つめる言葉です。

さて、みなさんは「今を大切に」という言葉を聞いたことがあると思います。希望に満ちた言葉で、深く考えずに受け取っているかもしれません。でも私は、この言葉には大きな意味があると思います。

「今」とは、過去の延長線上にある現在のことです。

「今」は、すぐに過去になります。過ぎた過去は誰にも変えられません。

でも「今」は違います。「今」は自分の意思で変えることができます。

だからこそ「今」を大切にすることが重要なのです。

「今」の積み重ねが、やがて自分の未来になります。

「今」を一生懸命に生きることで、経験が積み重なり、それが自分を支える「過去」になっていきます。

そして「今」の選択が「未来」をつくっていくのです。

「今を大切に」という言葉には、そんな意味があります。

では、みなさんの「今」はどうでしょうか。

過去の経験が今の自分を支えてくれていますか？ それとも、消し去りたい過去になっているでしょうか？ もし、うまくいかなかった過去があったとしても、まだ間に合います。今から変えていけばいいのです。失敗から学び、同じ過ちを繰り返さないことが大切です。

過去は変えられませんが、未来は変えられます。そのためには「今」をどう生きるかが鍵になります。

勇気を出して「今」を変えてみましょう。その一歩が、きっと未来を変えていきます。

学校評価 生徒アンケートから

	項目	R6年	R7年
1	各教科の授業が分かる(平均値)	92%	91%
2	各教科の勉強が好き(平均値)	80%	77%
3	事前に自分で計画を立てて(学習をして)いる	73%	60%
4	家で1時間以上学習している	75%	67%
5	一週間のうち、家で2時間以上勉強する日数の平均		2.2日
6	授業などの学習の場面でタブレットを活用できたか	79%	84%
7	学活や休み時間など生活の場面でタブレットを活用できたか	59%	63%
8	縦割りの活動に、積極的に活動できたか	90%	91%
9	デイリーライフや手帳を活用して、家庭学習の習慣化に役立てることができたか	60%	62%
10	将来の夢や目標を持っている	78%	72%
11	社会のルールやマナーを守っているか	98%	95%
12	自分に良いところはあるか	77%	81%
13	学校の先生は、あなたの良いところを認めている	86%	92%
14	学校は安心して生活できる場所になっている	80%	80%
15	毎日、朝食を食べている	88%	92%
16	家庭での平日のメディア使用が2時間以内である	29%	22%
17	午後11時までには就寝する	65%	57%
18	自分専用の携帯電話、スマートフォンを持っている	78%	85%
19	寝るときに、携帯電話やスマートフォンを手元に置かない	44%	42%
20	メディア利用について、保護者との時間制限のルールがある	40%	45%

生徒アンケートを昨年度の7月と比較すると、項目2「教科の勉強が好き」と回答した生徒の割合が77%となり、昨年度よりも3%下降しました。全体的に下降気味ですが、英語については昨年度よりも10%以上上昇しました。ここ数年の傾向として、基本的な事項について定着していない生徒が一定数います。そういった生徒にも意欲をもって授業に取り組めるような「対話的な授業」「わかりやすい授業」を行うとともに、楽しいと感じられるような授業を心がけていきます。また、普段の生活から「粘り強く取り組む生徒」を育てられるような働きかけを続けていきます。

家庭学習については、今年度から目標時間を1日2時間以上とし、プランニングの時間を5分伸ばして家庭学習の習慣化に努めてきました。その結果ですが、項目3「家庭で、自分で計画を立てている」（昨年度は「～計画を立てて学習をしている」）が13%の減少となりました。項目4「1時間以上勉強している」が8%の減少、項目5「1週間のうち、2時間以上勉強する日数の平均」は2.2日と、家庭学習が定着しきれていない現状が明らかになりました。しかし、項目9「デイリーライフや手帳を活用して、家庭学習の習慣化に役立てることができたか」については2ポイントの上昇となりました。習慣化に役立っている生徒が例年通りいる一方で、プランニングや家庭学習に全く取り組めていない生徒が増加していることがうかがえます。家庭学習の取り組み方やプランニングの仕方など、基本的な事柄についての指導を引き続き粘り強く行っています。

関連して、項目16「家庭での平日のメディア使用が2時間以内である」が7%下降、項目19「寝るときに、携帯電話やスマートフォンを手元に置かない」が2%の下降、項目17「午後11時までには就寝する」が8%の下降、以上の3点が注意すべき点であります。一般的にメディア使用時間が長いほど、成績が低くなることは様々な調査の結果で明らかにされています。また、遅くまでのスマートフォン等利用のために睡眠時間が削られ、日中眠そうにしている生徒も時折見かけます。学校でも引き続き、授業や家庭学習についての丁寧な支援・指導を継続して行います。ご家庭でもお子さんのメディア利用をよく見ていただければと思います。

タブレットの使用については、項目6「授業などの学習の場面でタブレットを活用できたか」が5%上昇、項目7「学活や休み時間など生活の場面でタブレットを活用できたか」は4%の上昇となりました。タブレットを文房具のように普段使いできるように、という方針の下、タブレットの使い方については指導を行ってきましたが、ルールを逸脱した使用が目につきます。「常識に従い、自由に使わせる」とことと「ルールを逸脱し

ない」ことの兼ね合いについては未だに試行錯誤を続けている部分です。個人の良識や常識に頼れなければ、厳しいルールで縛ることに繋がります。それは本来のG I G Aスクール構想からは離れたものです。今一度一人一人が守るべきルールについて考えて欲しいと思います。

基本的な生活については、項目15「毎日、朝食を食べている」が6%上昇していることが素晴らしいです。活力ある学校生活を送るためにも、毎日の朝食をしっかりとることが基本です。引き続きご家庭での支援をよろしくお願ひします。

学校生活については、項目12「自分に良いところはあるか」が4%の上昇、項目13「学校の先生は、あなたの良いところを認めている」が6%の上昇となりました。様々な悩みを抱えている生徒一人一人に向き合えるように学校全体で支援にあたっている姿勢が受け入れられている証左だと感じています。しかし手が十分に届いていない生徒が何%かいることもアンケートの結果からわかります。今後も生徒全員が安心して過ごせるよう、一人一人に丁寧に向き合いながら支援を続けていきます。

一方で、項目9「将来の夢や目標を持っている」については6ポイントの下降となりました。昨年度に引き続き、今年度もアントレプレナーシップの視点を取り入れたキャリア教育の充実に努めてまいりました。今後も生徒一人一が自分の夢や進路を正しく見据えられるような取組を続けていきたいと思います。

全国学力・学習状況調査結果について

3年生を対象に5月に実施した全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。今年度は国語・数学・理科の「学力調査」および、生徒の学習状況を把握する「学習状況調査」が行われました。一中は、全国平均と比較して国語、数学、理科ともに大きく下回る正答率でした。

【学力調査の結果から】

全国平均との比較より	
国語	ほとんどの項目で全国平均を下回っています。また、無答率が全国平均よりも高い傾向にあります。根拠を明確にして文章を書く問題では全国平均を上回っています。
数学	ほとんどの項目で全国平均を下回っています。また、無答率が全国平均よりも高い傾向にあります。択一式の選択問題では全国平均との差が小さい傾向にあります。

【学習状況調査の結果から】

好ましいと考えられる項目	課題と捉えられる項目
「自分で学びを考え、工夫することはできているか」「先生は、テストで間違えたところや理解していないところについて、わかるまで教えてくれるか」の項目で全国平均よりもやや高い結果となりました。	「学校に行くのは楽しいと思うか」「友人関係に満足しているか」の項目で全国平均より低い結果となりました。また、学習の取り組み方についての項目については概ね全国平均よりやや低い傾向が見られました。

今回の調査結果を踏まえて、次のような指導を行います。

- 各教科で、基礎・基本を身につけるための学習のやり方を再確認し、家庭学習での確実な実施を促せるように、家庭学習等での着実な実施に向けた手立てを検討し、基礎・基本の定着を図ります。また、基礎・基本の定着を確認するため、年度末に学年のまとめ学習を設定し、年度内の学習について確認、復習をします。
- 学習だけでなく、学校、学級、生徒会等の活動をとおして生徒の努力を称えて、「頑張れば成果につながる」という気持ちを育て、生徒の継続的な学習の取組に繋げます。放課後の時間を活用し、質問がある生徒や学力を伸ばしたい生徒のための学習の場を設定します。これらを通して、自主的な学習を促し、自己肯定感や自己有用感を育んでいきます。

全国学力・学習状況調査結果(数値は平均正答率。理科についてはIRTスコア)

	国語	数学	理科(IRTスコア)
村上第一中学校	46	34	455
新潟県	54	46	498
全国	54.3	48.3	503

※「IRTスコア」：TOEIC・TOEFL等でも用いられる、各設問の難易度等を用いて、IRTの数式により受験者の能力値を推定したもの。難易度の高い設問に正答するほど高めに、難易度の低い設問に誤答するほど低めに算出される。標準スコアは500。

麗華祭のおれについて

10月24日（金）の双翼祭では、多くの保護者、地域の皆様より御来場いただきありがとうございました。昨今の部活動地域移行等による土曜、日曜の学校行事削減から、当校も今年度より平日開催といたしました。

また、例年借用していた村上市ふれあいセンターが依然改修工事のため使用できることと、昨年度借用した朝日地区の総合文化会館では当校の規模の参観される保護者全員を収容することはかなわなかつたため、原点に立ち返り、村上第一中学校の体育館での合唱コンクールとなりました。

当日は「天歌夢奏（てんかむそう）～天まで届く歌～」のスローガンのもと、どのクラスもこれまでの練習の成果を発揮して、すばらしい合唱を聴かせてくれました。また、学年合唱では、聴いている人の心を揺さぶるほどの感動的なものとなりました。そして全校合唱。今年度は3年1組と2年3組が金賞を獲得し、感動に包まれた合唱コンクールでした。（写真：全校合唱）



第3回中学校区あいさつ運動への御協力ありがとうございました

10月20日（月）から4日間、今年度最後の中学校区あいさつ運動が実施されました。今年度のあいさつ運動でも各自治会の区長や民生委員、主任児童委員等の地域の皆様に御協力をいただきました。あいさつ運動の期間だけでなく、毎日、お互いにさわやかなあいさつが交わされる学区となるよう、引き続き御協力をお願いします。

11月の主な予定

4	火	メディアコントロール週間（10/30～11/5）
5	水	Ⅱ期テスト
6	木	Ⅱ期テスト
7	金	漢字検定、心肺蘇生法講習会（2年）
10	月	全校集会
11	火	3年生実力テスト
13	木	1年生塩引き鮭づくり体験
17	月	ほっとコミュニケーション集会（PM）
18	火	専門委員会
20	木	2年生単元別テスト
25	火	生徒会役員選挙
26	水	3年進路説明会（PM）、第2回学校運営協議会
27	木	生徒集会、任命式

